



発行 一般社団法人 日本品質管理学会  
 東京都杉並区高円寺南1-2-1 日本科学技術連盟東高円寺ビル内  
 電話.03 (5378) 1506 FAX.03 (5378) 1507  
 ホームページ:www.jsqc.org/

## CONTENTS

- 1-トピックス 新研究会「医療の質マネジメントシステム監査研究会」の発足
- 2-私の提言 今まで以上に経営の質が問われる時代に
- 2-ルポルタージュ 第388回中部事業所見学会ルポ
- 3-大久保尚武氏デミング賞本賞を受賞/6・7月入会者紹介/デミング賞ほか
- 4-行事案内/新規研究会メンバー募集/各賞表彰

## 新研究会「医療の質マネジメントシステム監査研究会」の発足

医療の質・安全部会 部会長 棟近 雅彦

当部会は、2005年12月10日に第1回総会を開催し、活動を開始した。医療の質・安全の向上は社会的に重要な課題であり、これに対して医学系と工学系の実務家、研究者が、共同で取り組む意義が高いとの認識のもと、医療の質・安全を主要な研究領域とし、医学系、工学系が融合する場を提供してきた。

研究テーマとしては、開設当初から、医療の質マネジメントシステム（医療QMS）と患者状態適応型パス（PCAPS）を柱としてきた。前者は、医療における管理技術はいかにあるべきかの研究であり、後者は固有技術である臨床技術をいかに効果的に蓄積、活用するかに関する研究である。

この定常的に行う研究とは別に、2007年～2008年には、医療の質マネジメントシステム研究会（略称医療QMS研究会）を開催し、ISO 9001の審査員、コンサルタント、医療者の方々に参加していただき、ISO9001の要求事項の医療向け解釈、医療機関での内部監査の進め方、医療機関における管理指標の研究を行った。この成果はJSQCの研究発表会で報告しているが、主査であった大和田孝氏が急逝されたこともあり、2年間で終了している。

その後、QMS活動やISO 9001の認証に取り組む病院は増えている。一方、団塊の世代が引退する時期を迎

え、医療QMSを適切に審査あるいは監査できる人材が減少してきている。QMSという点では、工業と共通している点もあるものの、医療の特殊性を考慮することも必要であり、医療QMSを適切に評価するには、ある種の能力、知識が必要である。

現在は、QMSによって医療の質・安全を確保するための基盤が整備されてきており、今後、QMSの有効性をチェックし、PDCAサイクルを回していくことが、質・安全向上のために大切な活動になる。そのためには、内部監査、マネジメントレビュー、外部審査などを通じてQMSの問題点を効果的、効率的に抽出することが必要である。また、ISO 9001は、2015年に改正版が発行されており、その際に追加された要求事項をどのようにQMSに取り込むかも考察する必要がある。

そこで本部会では、医療のQMSの監査（審査）における有効な視点を探るべく、下記の研究目的、研究内容の新研究会を立ち上げることにした。

### 研究目的：

医療のQMS監査（審査）における有効な視点を明らかにする。その中で、特にISO 9001：2015の特徴を明確にし、それらのQMSへの活用方法および監査（審査）の視点を明らかにする。

### 研究内容：

- 1) 品質マネジメントシステム規格国内委員会監修「ISO 9001：2015 要求事項の解説」、日本規格協会等を参考に、ISO 9001：2015の特徴を明らかにする。
- 2) 医療従事者は、1) に関して自身の病院でどのような取り組みを行っているか（これから行おうとしているのか）、それらを内部監査でどのように確認しているか（これから確認しようとしているのか）を調査し、発表する。
- 3) 審査員、監査員、コンサルタント等は、1) に関して医療機関でどのような取り組みがあるか、それをどのような視点で監査（審査）しているか（これからはようとしているのか）について、整理し、発表する。
- 4) 2008年度版と2015年度版で、検出課題についてどのような違いがあるかを分析する。
- 5) 以上の議論を受けて、監査（審査）の視点を明確にする。

研究会主査には、医療者でありISO 9001の審査員でもある南大阪病院の香西瑞穂氏に、副査には大久野病院院長進藤見氏、前橋赤十字病院副院長阿部毅彦氏にお願いした。第1回の研究会は、2017年1月14日(土)を予定している。部会に入会していただければどなたでも参加可能である。会員の方々の積極的な参加を期待したい。

## ● 私の提言 ●

## 今まで以上に経営の質が問われる時代に

東レ株式会社 内田 章



リオ・オリンピックで、日本はメダル獲得総数過去最多を更新した。パラリンピックとの合同凱旋パレードでは、沿道

に約80万人が集まり、周囲は大歓声に包まれた。この熱狂が、やがて東京2020大会へのより大きな期待に繋がっていくのであろう。

リオ・オリンピックでは、男子柔道が全7階級でメダル獲得という素晴らしい結果を残した。このような快挙は、やはり科学的なトレーニングの成果に負うところが大きい。身体面、精神面の特徴が運動能力のどこに影響を与え

ているのか、外国選手との差異はどこにあるのか、といった要因分析をベースに、記録や勝敗との因果関係を徹底的に調べて、練習に活かしたことが役立っている。正に、QCストーリーに基づく問題解決が実践されたということだと思う。

翻って、最近の日本企業の成績を考えてみると、メダルの総数はどれくらいになるだろうか。残念ながら、日本企業はかつての強さが失われて、現在、収益力は欧米企業に比べて遙かに劣ると言われている。それが引き金となり、昨年6月にコーポレートガバナンス・コードが導入された。しかし、我々企業人としては、このコードを適用すれば直ちに収益力が高まり業績が上がる、単純に考えるわけにはいかない。企業の低収益性は、会社ごとにそれぞれ

の要因があり、それを見極める必要がある。まずは、海外を含めた競合会社と自社とで、経営資源、経営体制にどのような差異があり、それが競争力にどう影響しているのか、といった分析を徹底的に行う必要がある。その中で、コーポレート・ガバナンスに関連する要因があれば、コードの趣旨を踏まえつつ対策を講じなければならない。すなわち、企業の収益力の問題も、QCストーリーに沿って問題解決を図る必要があるということである。新聞等で注目度の高い社外取締役の導入についても、単に二人以上入れれば良いというのではない。現状分析に基づき、自社の競争力強化のために必要な資質を見極めて、そういう資質を持った人になってもらうことが重要である。つまり、形ではなく質が重要なのである。企業不祥事の防止も全く同じだ。問題の本質、真の要因を押さええない限り、形だけ整えても意味がないことが、様々な事例で明確になった。グローバル化の進展、企業の社会的責任の増大に伴い、今まで以上に、経営の質が問われる時代になってきたわけである。

### 第388回中部 事業所見学会 ルポ

#### (株)ジェイテクト 花園工場

去る平成28年7月14日(木)に(株)ジェイテクト花園工場(愛知県岡崎市)にて『大部屋活動・小集団活動』を通じて学んだ、人財育成』をテーマに開催され、35名が参加されました。

(株)ジェイテクトは2006年に光洋精工と豊田工機が合併して誕生し、今年で10周年を迎える「歴史ある若い会社」です。花園工場は、《夢に向かって Be Ambitious! 【志】》をスローガンに掲げ「素材材から完成品」まで、メカポンプ・電子部品を一貫生産している工場です。大部屋活動とは、工場・生技・設計・調達の四位一体で構成され、職場の問題を解決する為に、専門分野が集結し情報を共有化することです。また、小集団活動によって、人との繋がりやすさや、仲間への愛情・思いやりが一層深まり、知識の習得・技能の向上を図り、自らやる気を出させる人財育成を

行なっています。

今回の見学では、大部屋・小集団活動を通じた継続的な改善活動で自ら成長し工場を活性化させた事例を紹介いただきました。大部屋活動事例では、電動オイルポンプ組立ラインの改革で増産とサイクルタイム低減によるライン削減の両立や、水素バルブ製造に関わる技術課題の克服を、小集団活動事例では、ポンプ切削加工での切削刃具削減や、異品ボルト混入不具合撲滅対策を説明いただきました。さらに、それらを支える基礎教育として、間接社員を含む全社員対象とした配属前の作業員訓練・危険体感道場や、改善力を身につけるためのカラクリ道場での人財育成、QCサークル活動への取り組み紹介を現場で行っていただきました。質疑応答では、QCサークル活動についての質問が多数され、全社を挙げてバックアップする仕組み、取り組みについて説明していただきました。

最後に、業務多忙の折にもかかわらず、丁寧なご説明および生産現場見学の機会を設定し対応していただきましたことに対し、心より感謝申し上げます。

脇田 康之(日本特殊陶業(株))

# 大久保 尚武・元本学会会長 今年度デミング賞本賞を受賞

第44年度本学会会長の大久保尚武氏が今年度のデミング賞本賞を



受賞されました。同氏は、積水化学工業(株)の代表取締役社長、会長を経て、現在は相談役に就かれています。

顧客満足 (CS) と人材育成を経営の軸としたCS品質経営の推進・発展に大きく貢献され、早くから環境経営を実践されてきました。エコロジーとエコノミーを両立させ、継続的な成長を図るとともに社会的責任 (CSR) を果たすための環境貢献製品の開発・普及は環境経営の軸であり、産業界に大きな影響を与えました。

当学会の会長在任時には、「新中長期計画2020」を策定し、今後の品質管理界のビジョンを提示され

ました。さらに、品質活動による日本の再活性化のために、日本全体の品質活動を推進する組織・団体の統合を目指したアンブレラ組織の創設を起案され、椿広計現会長のもとで、具体的な実現に向けた取組みを推進しています。

当学会としても、同氏の功績が認められデミング賞本賞を受賞されたことは大変名誉なことです。誠にありがとうございました。



## 2016年6月の入会者紹介

2016年6月17日の理事会審議において、下記の通り正会員10名の入会が承認されました。

.....  
**(正会員10名)** ○竹内 嘉代 (インターナショナル・レジスター・オブ・サーティフィケートッド・オーディターズ・ジャパン)

.....  
パン) ○宮本 長武 (ミマキエンジニアリング) ○佐中 俊哉 (三菱化学) ○坂本 康裕 (新日鐵住金) ○老久保雄太 (富士フイルム) ○戸島 平 (エス・エム・エムプレジション) ○中野 真 (金沢工業大学) ○平田 健二 (共和薬品工業) ○亀田 毅 (GSユアサ) ○中林勇人 (ダイキン工業)

## 2016年7月の入会者紹介

2016年7月19日の理事会において、下記の通り正会員16名、準会員1名、賛助会員2社2口の入会が承認されました。

.....  
**(正会員16名)** ○香川 匡史 (アカオアルミ) ○野田 康宏 (ヤンマー) ○伊藤 恵一 (オフィス リベルタス) ○田中 秀憲 (福井村田製作所) ○下地 恵昇 ○田中 昭宣 (三菱ガス化学) ○猪飼 英典 (共和薬品工業) ○須加尾政一 (Q&SAG研究所) ○中西 恒雄 (キヤノン) ○長坂 由子 (日立製作所) ○福岡 睦生 (ブラザー工業) ○北脇正幸 (日立金属) ○小原 好一 (前田建設工業) ○成山 稔 (スタッフサービスエンジニアリング) ○福本 博文 (パナソニックタワー・ジャズセミコンダクター) ○松崎 智康 (富士ゼロックス)

.....  
**(準会員1名)** ○小林 周平 (名古屋工業大学)

.....  
**(賛助会員2社2口)** ○統計センター ○オティックス

.....  
デミング賞委員会 (委員長 榊原 定征) において、2016年度のデミング賞各賞、日経品質管理文献賞の受賞者が決定し、授賞式は11月9日経団連会館にて執り行われました。

1. デミング賞本賞 大久保 尚武 氏 積水化学工業株式会社 相談役

2. デミング賞

Ashok Leyland Limited, Pantnagar Plant (インド)

トヨタ自動車九州株式会社 (福岡県宮若市)

丸和電子化学株式会社 (愛知県豊田市)

3. 日経品質管理文献賞 (文献名五十音順)

(1) 「開発・設計に必要な統計的品質管理 - トヨタグループの実践事例を中心に -」

一般社団法人日本品質管理学会 中部支部 産学連携研究会 編

(2) 「JSQC選書25 QCサークル活動の再考 - 自主的小集団改善活動 -」

久保田 洋志 著

(3) 「実験計画法と分散分析」

三輪 哲久 著

(4) 「品質・安全問題と信頼 - 信頼を得るとき、信頼を失うとき -」

伊藤 誠 著

正 会 員 : 2043名

準 会 員 : 57名

職 域 会 員 : 38名

賛 助 会 員 : 152社197口

公 共 会 員 : 17口

## 行事案内

## ●第46回年次大会・名古屋工業大学(本部)

日時：2016年11月25日(金)26日(土)  
 25日(金)13:30~16:00 事業所見学会A  
 三菱重工MRJ 小牧南工場  
 13:30~16:00 事業所見学会B  
 メイドー 三好工場  
 18:00~20:00 年次大会懇親会  
 26日(土) 9:30~10:40  
 通常総会/各賞授与式  
 10:40~11:35 会長講演  
 椿 広計氏(統計センター)  
 12:45~17:15 研究発表会  
 参加費:(研究発表会の当日払いは別金額)  
 見学会・研究発表会  
 会員7,320円(締切後7,860円)  
 非会員13,140円(締切後14,220円)  
 準会員4,160円 一般学生5,740円  
 研究発表会  
 会員4,320円(締切後4,860円)  
 非会員8,640円(締切後9,720円)  
 準会員2,160円 一般学生3,240円  
 懇親会

会員・非会員 4,500円

準会員・一般学生2,500円

申込締切：2016年11月16日(水)

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#h281125>

## ●第101回クオリティトーク(本部)

テーマ：IoT時代の企業経営の潮流

ゲスト：田中克己氏

(IT産業ジャーナリスト・元 日経BP社IT関連雑誌編集長)

日時：2016年12月7日(水)18:30~20:50

会場：日科技連東高円寺ビル5F研修室

定員：30名

参加費：会員3,500円 非会員4,500円

準会員・一般学生2,500円

(含軽食・当日払い)

申込方法：本部事務局宛E-mailまたはFAXにてお申し込みください。

詳細：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#h281207>

## ●JSQC規格「方針管理の指針」講習会(本部)

テーマ：変化への対応の切り札一方針管理による改善・革新を促進する

日時：2016年12月8日(木)13:00~17:00

会場：日科技連東高円寺ビル2階講堂

定員：100名

プログラム：

JSQC規格「方針管理の指針」制定のねらい

1. 方針管理の基本
2. 部門における方針管理の進め方
3. 組織全体の方針管理の進め方と方針管理の推進

全体討論

参加費：会員4,320円(締切後4,860円)

非会員6,480円(締切後7,020円)

準会員2,700円 一般学生3,780円

※当日払いは別金額

申込締切：2016年12月1日(木)

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#h281208>

## 新規研究会メンバー募集

## 「医療の質マネジメントシステム監査研究会」の設立と参加者募集のお知らせ

医療の質・安全部会は、来年1月より新しい研究会、「医療の質マネジメントシステム監査研究会」(略称医療QMS監査研究会)を立ち上げます。この研究会の目的は、医療のQMS監査(審査)における有効な視点を明らかにすることです。医療者や監査員の方で活発な議論を展開したいと思います。部会に入会すれば、どなたでも参加できます。

主 査：香西瑞穂(南大阪病院)

開催日：2017年1月~

場 所：早稲田大学 西早稲田キャンパス(理工学部)

参加費：無料(ただし、交通費、食事はご負担ください)

詳細・申込：[http://www.jsqc.org/ja/nyuukai/qms\\_moushikomi1601012.pdf](http://www.jsqc.org/ja/nyuukai/qms_moushikomi1601012.pdf)

## ●第17回「安全・安心のための管理技術と社会環境」ワークショップ

日時：2016年12月23日(金・祝)13:00~17:30

会場：筑波大学東京キャンパス文京校舎

定員：200名

参加費：2,000円 ※当日払い

申込締切：12月16日(金)17:00

申込方法：本部事務局宛E-mailまたはFAXにてお申し込みください。

プログラム：

「原子力に対する信頼・理解の醸成」

首藤 由紀氏(社会安全研究所)

「リスク管理組織に対する人々の信頼」

中谷内一也氏(同志社大学)

「品質・安全問題と信頼」

伊藤 誠氏(筑波大学)

パネルディスカッション

コーディネータ：

飯塚 悦功氏(東京大学)

申込方法：

ホームページからお申し込みできます。

詳細：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#h281223>

## ●第391回事業所見学会(本部)

テーマ：花王における品質保証活動の取り組みーよきモノづくりの核心ー

日時：2017年1月18日(水)13:30~16:30

見学先：花王 すみだ事業場

定員：35名

参加費：会員3,000円 非会員4,500円

準会員2,000円 一般学生2,500円

※当日払い

申込締切：2017年1月11日(水)

申込先：本部事務局

詳細：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#h290118>

## 行事申込先

JSQCホームページ：[www.jsqc.org/](http://www.jsqc.org/)

本 部：TEL 03-5378-1506

FAX 03-5378-1507

E-mail：apply@jsqc.org

## 各賞表彰

第46回通常総会において、第45年度研究奨励賞1件、品質技術賞1件、品質管理推進功労賞3氏、JSQC Activity Acknowledgment賞1件の授賞および表彰が行われます。

## 【第45年度 研究奨励賞】

『多数の内職者を含む調達・外部委託においてRCAを行うための方法の提案』

齋藤 喜允氏(中央大学 現：株リコー)

「品質」46, 2, pp.72-85 (2016)

## 【第45年度 品質技術賞】

『生産ラインのヒヤリハットや違和感に関する気づきの発信・受け止めを促進するワークショップの提案』

細島 章氏(東林コンサルティング 元：アズビル金門(株))

「品質」46, 3, pp.83-93 (2016)

## 【2016年度 品質管理推進功労賞】

石山 一雄氏 シックスシグマ品質研究所

(元 東芝(株)、東芝シグマコンサルティング(株))

鬼頭 靖氏 アイシン精機(株)

高木 美作恵氏 (一財)日本科学技術連盟 (元 シャープ(株))

## 【第45年度 JSQC Activity Acknowledgment賞】

山下 雅代氏 電気通信大学